

今回は、活用する片手略語動詞について解説します。

ソクタイプ式速記では、活用する片手略語の動詞が60余りあります。

左のムレで打つ片手略語の動詞は、右のムレで打つ符号により語尾が変化します。

その活用段ごとに、「右のムレで何を打った場合に」「語尾がどう変化するか」が決められていて、「はやとくん」のプログラムも、その決まりに従った仮名文字データを出力します。

例えばあわ行五段活用の動詞についての決まりは以下の表のとおりです。

あわ行五段活用									
語尾	右のむれ								
わ	しく	され	せる	しても	なく	ねば	ならない	ざる	れる
	した	しい	させ	なかった	なければ	れて	ざるをえ	れた	される
	なきや	しての	しては						
	す	せ	して	ぬ	ず	れ	ない		
い	ません	ます	すぎる	ながら	つづける	うる	なおす	なさる	ましても
	ましよう	ました	ましての	ましては	かた				
	こむ	まして	ますと	たい	だす				
っ	たり	たら	てき	ても	ちゃう				
	た	て	とく	ちゃ	てい	とる	ての	ては	
って	おる	いる	くる	もらう	みる	いった	きた	くださる	いた
	しまう	いらっしゃる	やる	みた	いただく	いって			
語幹	える	えば							
	い	え	おう	わ(+ん)	わ(+な)	わ(+ねい)			

動詞「伺う」を例にとり、この表の読み方を上から説明していきます。

### 【わ】

左のムレで「伺う」を打ち、右のムレで略語「され」や「せる」、基本音節の「ない」や「れ」を打った場合に、語尾が「わ」と活用し、「うかがわ」と出力される、ということを表しています。

HK AI TK INO AS	伺わせる
HK AI TK O A K T	伺われ

### 【い】

左のムレで「伺う」を打ち、右のムレで略語「ます」や「かた」、基本音節の「たい」を打った場合に、語尾が「い」と活用し、「うかがい」と出力される、ということを表しています。

HK AI TK IN ASK	伺います
HK AI TK IA TY	伺いたい

### 【っ】

左のムレで「伺う」を打ち、右のムレで略語「たり」や「ちゃう」、基本音節の「た」や「て」を打った場合に、語尾が「っ」と活用し、「うかがっ」と出力される、ということを表しています。

HK AI TK IN I T	伺ったり
HK AI TK O A T	伺って

### 【って】

左のムレで「伺う」を打ち、右のムレで略語「いる」や「いらっしゃる」を打った場合に、語尾が「って」と活用し、「うかがって」と出力される、ということを表しています。

HK AI TK IN I      伺っている

### 【語幹】

左のムレで「伺う」を打ち、右のムレで略語「える」や、基本音節の「おう」を打った場合に、語幹「うかが」が出力される、ということを表しています。

HK AI TK INO A      伺える

HK AI TK      IA      伺おう

ソクタイプ式では、「伺いました」というフレーズは、「うかがう」に「ました」を打ち加える形で速記します。

1音1音を追い掛けるというより、言葉のまとまりとして捉えて打つ感覚です。

片手略語動詞の活用の決まりというのは、ソクタイプ式速記の最も特徴的な仕組みとも言えると思います。